【44】平成29 年度　大学院シラバス

専攻分野/コース （英文名）	感染症学 （Infectious Diseases）
研究指導教員	國　島　広　之
研究・教育の概略	感染症は、細菌、真菌、ウイルスなどの様々な病原体によって、発熱や咳嗽、下痢などの臨床症状がみられる疾患であり、日々診療に携わるウイルス性上気道炎から、食中毒、高齢者の誤嚥性肺炎をはじめ、医療の進歩に伴う様々な日和見感染症などがみられている。従来、フレミングによるペニシリンの発見に始まり、野口英世による黄熱研究、多くの抗菌化学療法薬の開発が行われ、人類の歴史は感染症との戦いとも言える。近年では、MRSA、ESBLs、CRE(カルバペネム耐性腸内細菌)などの様々な薬剤耐性菌が、病院だけでなく社会福祉施設や市中感染症としてもみられているだけでなく、2003 年の世界的な SARS(重症急性呼吸器症候群)アウトブレイク、2009 年のパンデミックインフルエンザ、中東や韓国での MERS(中東急性呼吸器症候群)アウトブレイクやデング熱に続いてジカ熱など、感染症のグローバル化がみられており、地域で伝播・拡散する特殊性から、感染症は社会全体における共通課題であり、One Health アプローチを含めた地域・社会とのネットワークを構築することが必要不可欠である。本大学院では、プライマリケア、重症・日和見感染症の何れでも感染症学における次世代のトップランナーとして、感染症のトータルマネジメントをなり得る人材を育成することを目的とする。
研究項目	1. 感染症迅速診断検査、病原因子探索に関わる研究 2. Antimicrobial stewardship に関わる臨床的検討 3. *Clostridium difficile* 感染症に関する基礎的・臨床的検討 4. ヒトの Microbiota および薬剤耐性に関する研究 5. 災害時の感染症危機管理に関わる研究 6. 感染疫学・感染症ネットワーク構築に関する研究
準備学習(予習・復習)	大学院は、大学院終了・学位取得を通じて、これからの大学教員および地域における医療人を含めた研究生活としてのスタートアップを行うための修練期間である。したがって、大学院入学に関わる準備として、実地臨床では常に「探求心」を持ってあたることが必要不可欠であり、学会発表では関連する国内外の論文を通読し、論文執筆を心がけることが望まれる。加えて、感染症学では、大学人としてまた地域・社会での連携した活動が求められることから、幅広い人間性およびコミュニケーションスキルを身に付けることが必要である。

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症学概論			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	1年(2年でも可)		
テーマと目的	感染症の成り立ちを理解し、診断や薬剤開発に関する知識を学ぶ。				
講義計画	感染症の基本概念、個々の病原体の増殖様式や宿主との相互関係について講義を通じて学習し、感染症の診断・治療・予防法を詳述する。				
達成目標	感染症の診断、治療、予防法を理解する。				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders)				
準備学習(予習・復習・時間)	感染症学、臨床微生物学、感染制御学の概論を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Molecular Perspective	1	Anti-Infective Therapy
2	Microbiome	2	Nosocominal Infections
3	Probiotics	3	Infections in Special Hosts
4	Host Defense Mechanisms	4	Surgical Site Infections
5	Adaptive Immunity	5	Immunization
6	Mucosal Immunity	6	Zoonoses
7	Granulocytic Phagocytes	7	Environment
8	Complement and Deficiencies	8	Protection of Travelers
9	Human Genetics	9	Infections in Returning Travelers
10	Nutrition	10	New Bugs (1)
11	Suspected Immunodeficiency	11	New Bugs (2)
12	Epidemiologic Principles	12	New Bugs (3)
13	Emerging and Reemerging	13	New Bugs (4)
14	Bioterrorism	14	New Bugs (5)
15	Microbiology Laboratory	15	後期総合討論と発表

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	臨床微生物学（Ⅰ）			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	1年(2年でも可)		
テーマと目的	感染症の原因病態である細菌、真菌、ウイルスの病原性を学ぶ				
講義計画	種々の病原体について詳述する				
達成目標	それぞれの病原体における病原性について考察することができる				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders) 戸田細菌学, 第 34 版(南山堂)				
準備学習(予習・復習・時間)	臨床微生物学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講　義　内　容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	ブドウ球菌	1	プレボテラ属
2	レンサ球菌	2	フソバクテリウム属
3	淋菌・髄膜炎菌とナイセリア属	3	ジフテリア菌
4	緑膿菌	4	***Clostridium difficile* (1)**
5	ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌	5	***Clostridium difficile* (2)**
6	レジオネラ属とコクシエラ属	6	*Clostridium* 属
7	ブルセラとバルトネラ	7	バクテロイデス属
8	百日咳菌とボルデテラ属	8	ジフテリア菌
9	ヘモフィラスとパスツレラ	9	結核菌と抗酸菌
10	カンピロバクター属	10	アクチノマイセス,ノカルジア
11	腸内細菌科細菌	11	スピロヘータ属
12	ビブリオ属とエロモナス属	12	マイコプラズマ属
13	炭疽菌とバシラス属	13	リケッチア属
14	ラクトバシラス属	14	クラミジア属
15	リステリア属	15	後期総合討論と発表

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	臨床微生物学（Ⅱ）			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	感染症の原因病態である細菌、真菌、ウイルスの病原性を学ぶ				
講義計画	種々の病原体について詳述する				
達成目標	それぞれの病原体における病原性について考察することができる				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders) 戸田細菌学, 第 34 版(南山堂)				
準備学習(予習・復習・時間)	臨床微生物学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	ポックスウイルス科	1	アスペルギルス
2	ヘルペスウイルス科	2	ムーコル
3	アデノウイルス科	3	クリプトコックス
4	パピローマウイルス科	4	カンジダ(1)
5	パルボウイルス科	5	カンジダ(2)
6	ピコルナウイルス科	6	コシジオイデス
7	カリシウイルス科	7	その他の真菌
8	コロナウイルス科	8	アメーバ
9	トガウイルス科	9	マラリア
10	フラビウイルス科(1)	10	吸虫
11	フラビウイルス科(2)	11	トキソプラズマ
12	オルトミクソウイルス科	12	バイオハザード対策(1)
13	パラミクソウイルス科	13	バイオハザード対策(1)
14	フィロウイルス科	14	バイオハザード対策(2)
15	プリオン	15	後期総合討論と発表

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(4)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症診断学（Ⅰ）			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	感染症の病態の特徴、症候、経過及び治療を学ぶ				
講義計画	種々の感染症の病態について詳述する				
達成目標	それぞれの感染症における病態について考察することができる				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders)				
準備学習(予習・復習・時間)	感染症学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Temperature	1	Empyema and Pleural Effusion
2	Fever of Unknown Origin	2	Lung Abscess
3	Fever and Rash	3	Chronic Pneumonia
4	Common Cold	4	Aspiration pneumonia
5	Pharyngitis	5	Urinary Tract Infections
6	Acute Laryngitis	6	Sepsis, Severe Sepsis
7	Croup	7	Peritonitis
8	Otitis Externa	8	Liver and Biliary System
9	Sinusitis	9	Pancreatic Infections
10	Epiglottitis	10	Splenic Abscess
11	Oral Cavity, Neck, and Head	11	Appendicitis
12	Acute Bronchitis	12	Diverticulitis and Typhlitis
13	COPD	13	IE ＆ Intravascular Infections
14	Bronchiolitis	14	Myocarditis and Pericarditis
15	Acute Pneumonia	15	Mediastinitis

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(5)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症診断学（Ⅱ）			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	感染症の病態の特徴、症候、経過及び治療を学ぶ				
講義計画	種々の感染症の病態について詳述する				
達成目標	それぞれの感染症における病態について考察することができる				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders)				
準備学習(予習・復習・時間)	感染症学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　**1** 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Acute Meningitis	1	Orthopedic Implant Infections
2	Chronic Meningitis	2	Urethritis
3	Encephalitis	3	Vulvovaginitis and Cervicitis
4	Brain Abscess	4	Infections of the Female Pelvis
5	Shunt infections	5	Prostatitis
6	Cellulitis	6	Microbial Conjunctivitis
7	Myositis	7	Microbial Keratitis
8	Lymphadenitis	8	Endophthalmitis
9	Esophagitis	9	Infectious Causes of Uveitis
10	Inflammatory Enteritides	10	Periocular Infections
11	Enteric Fever	11	HIV Infection (1)
12	Food Poisoning	12	HIV Infection (2)
13	Tropical Sprue/Enteropathy	13	HIV Infection (3)
14	Infectious Arthritis	14	HIV Infection (4)
15	Osteomyelitis	15	HIV Infection (5)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(6)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症治療学			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	感染症の抗菌化学療法について学ぶ				
講義計画	種々の抗菌化学療法について詳述する				
達成目標	それぞれの抗菌化学療法薬について考察することができる				
教科書・参考書	Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders)				
準備学習(予習・復習・時間)	感染症治療学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　**1** 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Principles	1	Sulfonamides and Trimethoprim
2	Molecular Mechanisms of AMR	2	Quinolones
3	PK/PD	3	Unique Antibacterial Agents
4	Penicillins	4	Urinary Tract Agents
5	Cephalosporins	5	Topical Antibacterials
6	Other ß-Lactam Antibiotics	6	Drugs Active Against Fungi
7	Antibiotic Allergy	7	Drugs Active Against Fungi
8	Aminoglycosides	8	Drugs for Malaria
9	Tetracyclines	9	Drugs for Parasites
10	Rifamycins	10	Antivirals Against Influenza
11	Metronidazole	11	Antivirals Against Herpes Viruses
12	Macrolides, Clindamycin	12	Antivirals Against retrovirus
13	Glycopeptides	13	Antivirals Against retrovirus
14	Polymyxins	14	Antivirals Against retrovirus
15	Oxazolidinones	15	Other Antiviral Drugs

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(7)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染制御学			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	医療関連感染および地域の感染制御に関する知識を習得する。				
講義計画	種々の感染制御について詳述する。				
達成目標	病院、市中、地域における感染制御について考察することができる。				
教科書・参考書	1. Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 8ed (Saunders) 2. Hospital Epidemiology and Infection Control 4ed (Lippincott Williams & Wilkins)				
準備学習(予習・復習・時間)	感染制御学を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　**1** 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Organization for Infection Control	1	Antibiogram
2	Disinfection, Sterilization	2	Epidemiology of HAIs
3	Control of Hospital Waste	3	Hand washing and hygiene
4	Intravascular Devices	4	Isolation
5	Nosocomial Pneumonia	5	Economic Analysis
6	Nosocomial UTI	6	Legal Issues and infection control
7	Nosocomial Hepatitis	7	Education of HCWs
8	Nosocomial Diarrhea	8	Long term care facilities
9	Transplantation	9	Home care
10	Nosocomial Herpesvirus Infections	10	Avian influenza
11	SSI	11	Infection risk of Endoscopy
12	Antimicrobial stewardship	12	Infection risk of Hemodialysis
13	Antifungal stewardship	13	NICU
14	Team	14	Emergency department
15	Occupational Health	15	Dental

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(8)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	渡航者感染症			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	海外における感染症に関する知識を習得する。				
講義計画	種々の海外における感染症について詳述する。				
達成目標	海外における感染症および予防について考察することができる。				
教科書・参考書	Hunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Disease, 9ed (Saunders)				
準備学習(予習・復習・時間)	渡航者感染症を学ぶために、事前に参考図書を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	Tropical Lung Diseases	1	Maternal and Newborn Health
2	Cardiovascular Diseases	2	Pediatrics
3	Gastrointestinal Diseases	3	Complex Emergencies
4	Hepatobiliary Diseases	4	Diagnostic Imaging
5	Hematologic Diseases	5	Blood Transfusion
6	Urinary Tract Diseases	6	Infection Control
7	Sexually Transmitted Infections	7	Microbiology
8	Tropical Dermatology	8	Diarrhea
9	Ophthalmologic Diseases	9	Cancer
10	Neurologic Diseases	10	Heat-associated Illness
11	Psychiatric Diseases	11	Traditional Medicine
12	ENT	12	Environmental Health Hazards
13	Musculoskeletal System	13	Vaccine (1)
14	General Surgery in the Tropics	14	Vaccine (2)
15	Oral Health	15	Vaccine (3)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(9)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	特殊感染症診断			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1、後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	感染症の診断および実地疫学で用いられる特殊感染症検査について学ぶ				
講義計画	検体から核酸の単離、増幅、遺伝子のクローニング等の解析を行う。				
達成目標	分子生物学の手法を実践および解析を行うことができる。				
教科書・参考書	特になし。				
準備学習(予習・復習・時間)	必要な知識・原理および実験操作を、教科書・参考書・論文により予習しておくこと。 1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	分子疫学総論	1	MALDI-TOF MS (1)
2	PFGE (1)	2	MALDI-TOF MS (2)
3	PFGE (2)	3	MALDI-TOF MS (3)
4	PFGE (3)	4	MALDI-TOF MS (4)
5	PFGE (4)	5	Verigene
6	PFGE (5)	6	Xpert
7	PCR-based ORF typing (POT) (1)	7	PNA FISH
8	PCR-based ORF typing (POT) (2)	8	Yeast Traffic
9	PCR-based ORF typing (POT) (3)	9	Multiplex PCR (1)
10	PCR-based ORF typing (POT) (4)	10	Multiplex PCR (2)
11	PCR-based ORF typing (POT) (5)	11	シークエンス解析 (1)
12	Multi Locus Sequence Typing (MLST) (1)	12	シークエンス解析 (2)
13	Multi Locus Sequence Typing (MLST) (2)	13	シークエンス解析 (3)
14	Multi Locus Sequence Typing (MLST) (3)	14	シークエンス解析 (4)
15	Multi Locus Sequence Typing (MLST) (4)	15	シークエンス解析 (5)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(10)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	アウトブレイクレスポンス			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1、後期1)	履修年次	1 年		
テーマと目的	感染症の地域におけるアウトブレイク対応を学ぶ				
講義計画	実際の初動から事後対応までのアウトブレイク事例や演習を体験する。				
達成目標	感染症のアウトブレイクレスポンス専門家と連携した活動ができることを目的とする。				
教科書・参考書	特になし				
準備学習(予習・復習・時間)	講義で用いる文献を前もって精読し、まとめを作成しておく。 1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	アウトブレイクの定義(1)	1	アウトブレイク演習(1)
2	アウトブレイクの定義(1)	2	アウトブレイク演習(2)
3	サーベイランス(1)	3	アウトブレイク演習(3)
4	サーベイランス(2)	4	アウトブレイク演習(4)
5	アウトブレイクの初期対応(1)市中	5	アウトブレイク演習(5)
6	アウトブレイクの初期対応(2)院内	6	アウトブレイク演習(6)
7	アウトブレイクの初期対応(3)地域	7	アウトブレイク演習(7)
8	実地疫学(1)市中	8	アウトブレイク演習(8)
9	実地疫学(2)院内	9	アウトブレイク演習(9)
10	実地疫学(3)地域	10	アウトブレイク演習(10)
11	実地疫学(4)世界	11	アウトブレイク演習(11)
12	リスクコミュニケーション(1)	12	アウトブレイク演習(12)
13	リスクコミュニケーション(2)	13	アウトブレイク演習(13)
14	リスクコミュニケーション(3)	14	アウトブレイク演習(14)
15	リスクコミュニケーション(4)	15	アウトブレイク演習(15)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(11)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	メディアトレーニング（実習）			必修/選択	必修
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	1 単位(前期・後期)	履修年次	1 年		
テーマと目的	感染症アウトブレイクとして重要なメディアとのコミュニケーションを学ぶ				
講義計画	事例や演習を体験する。				
達成目標	感染症のアウトブレイクレスポンス専門家と連携した活動ができることを目的とする。				
教科書・参考書	特になし				
準備学習(予習・復習・時間)	講義で用いるニュースリソースを前もって精読し、まとめを作成しておく。 1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	模擬記者会見演習(1)	1	模擬記者会見演習(1)
2	模擬記者会見演習(2)	2	模擬記者会見演習(2)
3	模擬記者会見演習(3)	3	模擬記者会見演習(3)
4	模擬記者会見演習(4)	4	模擬記者会見演習(4)
5	模擬記者会見演習(5)	5	模擬記者会見演習(5)
6	模擬記者会見演習(6)	6	模擬記者会見演習(6)
7	模擬記者会見演習(7)	7	模擬記者会見演習(7)
8	模擬記者会見演習(8)	8	模擬記者会見演習(8)
9	模擬記者会見演習(9)	9	模擬記者会見演習(9)
10	模擬記者会見演習(10)	10	模擬記者会見演習(10)
11	模擬記者会見演習(11)	11	模擬記者会見演習(11)
12	模擬記者会見演習(12)	12	模擬記者会見演習(12)
13	模擬記者会見演習(13)	13	模擬記者会見演習(13)
14	模擬記者会見演習(14)	14	模擬記者会見演習(14)
15	模擬記者会見演習(15)	15	模擬記者会見演習(15)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(12)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	パンデミック			必修/選択	選択
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1、後期1)	履修年次	1 年		
テーマと目的	感染症パンデミックの準備対応ができることを目的とする				
講義計画	従前のパンデミックおよび今後パンデミックが予想される病原体および状態を詳述する。				
達成目標	パンデミックにおけるリスクアセスメントおよび対応ができることを目標とする。				
教科書・参考書	特になし。				
準備学習(予習・復習・時間)	講義で用いるニュースリソースを前もって精読し、まとめを作成しておく。 1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	パンデミック総論	1	SARS (1)
2	インフルエンザ (1)	2	SARS (2)
3	インフルエンザ (2)	3	SARS (3)
4	インフルエンザ (3)	4	SARS (4)
5	インフルエンザ (4)	5	MERS (1)
6	インフルエンザ (5)	6	MERS (2)
7	鳥インフルエンザ H5N1 (1)	7	MERS (3)
8	鳥インフルエンザ H5N1 (2)	8	MERS (4)
9	鳥インフルエンザ H5N1 (3)	9	パンデミックワクチン (1)
10	鳥インフルエンザ H5N1 (4)	10	パンデミックワクチン (2)
11	鳥インフルエンザ H5N1 (5)	11	行政との連携(1)
12	鳥インフルエンザ H7N9 (1)	12	行政との連携(2)
13	鳥インフルエンザ H7N9 (2)	13	社会との連携(1)
14	鳥インフルエンザ H7N9 (3)	14	社会との連携(2)
15	鳥インフルエンザ H7N9 (4)	15	後期総合討論と発表

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(13)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症の地域連携			必修/選択	選択
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	2 年		
テーマと目的	感染症における地域ネットワーク構築に資する育成を目的とする。				
講義計画	診療所、病院、行政、企業との連携を詳述する。				
達成目標	感染症における地域ネットワーク構築にかかわる、ヒューマンネットワークについて考察できる。				
教科書・参考書	特になし。				
準備学習(予習・復習・時間)	講義で用いる資料を前もって精読し、まとめを作成しておく。 1 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	診療所における感染症連携①	1	企業との薬剤開発連携①
2	診療所における感染症連携②	2	企業との薬剤開発連携②
3	診療所における感染症連携③	3	企業との薬剤開発連携③
4	高齢者施設における感染症連携①	4	企業との検査開発連携①
5	高齢者施設における感染症連携②	5	企業との検査開発連携②
6	高齢者施設における感染症連携③	6	企業との検査開発連携③
7	地域病院との連携①	7	国立感染症研究所との連携①
8	地域病院との連携②	8	国立感染症研究所との連携②
9	地域病院との連携③	9	国立感染症研究所との連携③
10	地域行政機関との連携①	10	WHO との連携①
11	地域行政機関との連携②	11	WHO との連携②
12	地域行政機関との連携③	12	WHO との連携③
13	医師会との連携①	13	AMR アクションプラン①
14	医師会との連携②	14	AMR アクションプラン②
15	医師会との連携③	15	AMR アクションプラン③

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(14)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	感染症ホットトピックス			必修/選択	選択
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2 単位(前期1, 後期1)	履修年次	1 年(2 年でも可)		
テーマと目的	感染症におけるホットトピックスを通覧し、最新の情報を共有する。				
講義計画	国内外の最新の感染症発生動向をもとに詳述する。				
達成目標	感染症の状況の把握、リスクアセスメントができることを目的とする。				
教科書・参考書	特になし				
準備学習(予習・復習・時間)	国内外における最新の感染症発生動向を確認しておくこと。 **1** 時間				
成績評価法	出席、講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	感染症ホットトピックス(1)	1	感染症ホットトピックス(16)
2	感染症ホットトピックス(2)	2	感染症ホットトピックス(17)
3	感染症ホットトピックス(3)	3	感染症ホットトピックス(18)
4	感染症ホットトピックス(4)	4	感染症ホットトピックス(19)
5	感染症ホットトピックス(5)	5	感染症ホットトピックス(20)
6	感染症ホットトピックス(6)	6	感染症ホットトピックス(21)
7	感染症ホットトピックス(7)	7	感染症ホットトピックス(22)
8	感染症ホットトピックス(8)	8	感染症ホットトピックス(23)
9	感染症ホットトピックス(9)	9	感染症ホットトピックス(24)
10	感染症ホットトピックス(10)	10	感染症ホットトピックス(25)
11	感染症ホットトピックス(11)	11	感染症ホットトピックス(26)
12	感染症ホットトピックス(12)	12	感染症ホットトピックス(27)
13	感染症ホットトピックス(13)	13	感染症ホットトピックス(28)
14	感染症ホットトピックス(14)	14	感染症ホットトピックス(29)
15	感染症ホットトピックス(15)	15	感染症ホットトピックス(30)

講義担当者承認　　㊞

学籍番号	
氏　　名	

平成29年度講義シラバス(15)

講義コード	※	専攻分野	感染症学		
講義題目	災害と感染症			必修/選択	選択
担当教員	國島 広之	担当教員連絡先	内線 2251		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	1年または2年		
テーマと目的	国内外における激甚な災害における感染症発生動向および対策の立案を学ぶ				
講義計画	阪神大震災、中越地震、東日本大震災、ハイチやスマトラ沖地震の事例研究を行う。				
達成目標	災害時における感染症サーベイランス体制、対応の構築				
教科書・参考書	特になし				
準備学習(予習・復習・時間)	国内外における災害時の文献報告を確認しておくこと。 1 時間				
成績評価法	出席および講義内での討論による総合評価				

講 義 内 容

前期(回)	内　　容　　(出席㊞)	後期(回)	内　　容　　(出席㊞)
1	東日本震災における感染症(1)	1	ハリケーンにおける感染症(1)
2	東日本震災における感染症(2)	2	ハリケーンにおける感染症(2)
3	東日本震災における感染症(3)	3	災害時のサーベイランス(1)
4	東日本震災における感染症(4)	4	災害時のサーベイランス(2)
5	東日本震災における感染症(5)	5	災害時の地域連携(1)
6	阪神大震災における感染症(1)	6	災害時の地域連携(2)
7	阪神大震災における感染症(2)	7	災害時の広域連携(1)
8	中越地震における感染症(1)	8	災害時の広域連携(1)
9	中越地震における感染症(2)	9	災害ボランティア対応
10	熊本地震における感染症(1)	10	災害ボランティア対応
11	熊本地震における感染症(2)	11	南海トラフ対応(1)
12	ハイチにおける感染症(1)	12	南海トラフ対応(2)
13	ハイチにおける感染症(2)	13	南海トラフ対応(3)
14	スマトラにおける感染症(1)	14	南海トラフ対応(4)
15	スマトラにおける感染症(1)	15	南海トラフ対応(5)

講義担当者承認　　㊞